

102-156

問題文

痛みを伴う疾患に用いられる薬物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. アミトリプチリンは、下行性疼痛抑制系の神経終末でのセロトニン及びノルアドレナリン再取り込みを阻害し、痛覚情報伝達を抑制する。
2. ترامadolは、シクロオキシゲナーゼ-2を阻害し、プロスタグランジンの産生を抑制する。
3. プレガバリンは、求心性一次知覚神経の電位依存性Ca²⁺チャネルの $\alpha_2\delta$ サブユニットに結合し、神経伝達物質の遊離を抑制する。
4. スマトリプタンは、セロトニン5-HT_{1B/1D}受容体を遮断し、片頭痛を緩和する。
5. デュロキシセチンは、 γ -アミノ酪酸GABA_B受容体を刺激し、筋緊張を伴う疼痛を緩和する。

解答

1, 3

解説

選択肢 1 は、正しい選択肢です。

アミトリプチリンは三環系抗うつ薬です。慢性疼痛にも用いられます。メカニズムは、選択肢の通りです。

選択肢 2 ですが

トラマドールは、コデイン類似合成オピオイドです。シクロオキシゲナーゼ（COX）-2阻害ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい選択肢です。

選択肢 4 ですが

スマトリプタンは、5-HT_{1B/1D}「刺激」薬です。遮断ではありません。片頭痛緩和に用いられるという部分は正しいです。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

デュロキシセチンは、SNRI です。セロトニン、ノルアドレナリンの再取り込み阻害薬です。GABA 刺激薬では、ありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,3 です。

類題)